

英語

1. 読解「蜂群崩壊症候群がもたらすもの」：英文和訳、同意表現、内容説明、和文英訳
2. 読解「中世における清潔さの概念」：英文和訳、内容説明、空所補充、和文英訳
3. 文法・語い：同意表現
4. 文法・語い：書き換え

数学

1. 行列：行列の成分、逆行列、1 次変換、行列の n 乗
2. 空間図形：空間座標、 $\triangle ABC$ が二等辺三角形・直角三角形となる条件
3. 数列：数列の和 S_n と一般項 a_n 、最小の a_n の値、 $a_n < 0$ となる n
4. 微分法：関数の定義域、増減と凹凸、接線

化学

1. 理論：同位体の構成・存在比、リン酸カリウム緩衝液の調製
2. 無機：カルシウムを含む化合物の性質・反応、二酸化硫黄の性質
3. 有機・理論：タンパク質・糖類・油脂・セッケン・合成繊維・コロイドなど

物理

1. 総合：送電の原理、波の性質、等速円運動、電子の加速
2. 力学：平面上の衝突、重心から見た運動
3. 電磁気：円形コイルを流れる交流電流がつくる磁場の合成
4. 熱力学：水熱量計を使った熱量・熱容量・比熱の測定
5. 波動：閉管の 5 倍振動

生物

1. 遺伝情報、細胞：遺伝情報の発現、タンパク合成
2. 動物の反応：肝臓の働きと血糖量調節のしくみ
3. 動物の反応：ヒトの視覚、明暗順応
4. 遺伝、遺伝情報：突然変異の種類と原因

聖マリアンナ医科大対策

試験日程

区分	募集人員	出願期間	1 次試験日	1 次合格発表日	2 次試験日	2 次合格発表日
一般	100	12/19 ~ 1/20	1/31	2/7	2/11 or 12 (指定)	2/17

傾向と対策

聖マリアンナ医科大対策 英語

2007 年から 4 題を踏襲。長めの長文を正確に読み解き、記述力を磨き、1 点でも多く稼ぐテクニックを伝授する。

例年、受験生の中で英語ができる生徒が受かっている。聖マリアンナは英語ができない生徒はとらない方針。最低ボーダーは 70 点 / 100 点。

聖マリアンナ医科大対策 数学

問題のレベルはあまり高くないうえ、時間的にも多少の余裕がある。しかしその分、高得点が必要不可欠に。典型的な問題が多いので問題を多く解いていくことも効果はあるが、1 つ 1 つの意味を的確にとらえ、ゴールを定めて式を変形していく力が必要となる。この講座では問題を読み解く力を養成しながら、もれていそうな典型問題を中心に扱っていきます。

聖マリアンナ医科大対策 化学

設問全体のうち約半数が論述の設問で、設問ごとに 1 行から数行内で説明する。ただ、教科書中に太字で強調されている基本的な語句の論述がほとんどなので、きちんと対策をすれば恐れるほどのことではない。出題内容としては、無機化学の出題は少ない。そして、約半数が有機化学である。その有機化学の分野でも、タンパク質や糖類などの出題が目立つ。難易度としては、およそ 8 割が基本問題か標準問題で、いずれのレベルでもなぜそうなのかという基本理解がないとなかなか高得点はねえられない出題となっている。

聖マリアンナ医科大対策 物理

聖マリアンナ医科大学では、理科 2 科目で 150 分という限られた時間内に、5 問の大問を解かなければならない。このため、じっくり問題に取り組むというよりむしろ条件反射的にスピーディーに解くことが要求される。この講座では、聖マリアの傾向にあった問題をすばやく正確に解く方法を詳しく説明する。力学、電磁気、熱力学、波動の 4 大分野の公式を確認しながら万遍無く講義をおこなう。

聖マリアンナ医科大対策 生物

大問 5 問からなる。試験時間は 2 科目で 150 分。【5】は、生物の集団が分類と進化からの選択問題である。したがって、これらの単元からは必ず出題されるので特に念いりに準備しておくことが必要。50 字程度の論述問題が出題され、ここで差がつくので十分な準備が必要である。授業では論述対策もする。ほとんどが、取り組みやすい問題だが、一部難問も含まれる。授業では、時間配分・配点例・どの問題は先に手をつけるかなども紹介するので、各自各講 75 分を測り、必ず予習して臨むこと。